

第 7 回

豊岡市竹野地域小中一貫校開設準備委員会

当日資料

3 議 事

(1) 校章について（最終候補の選定）

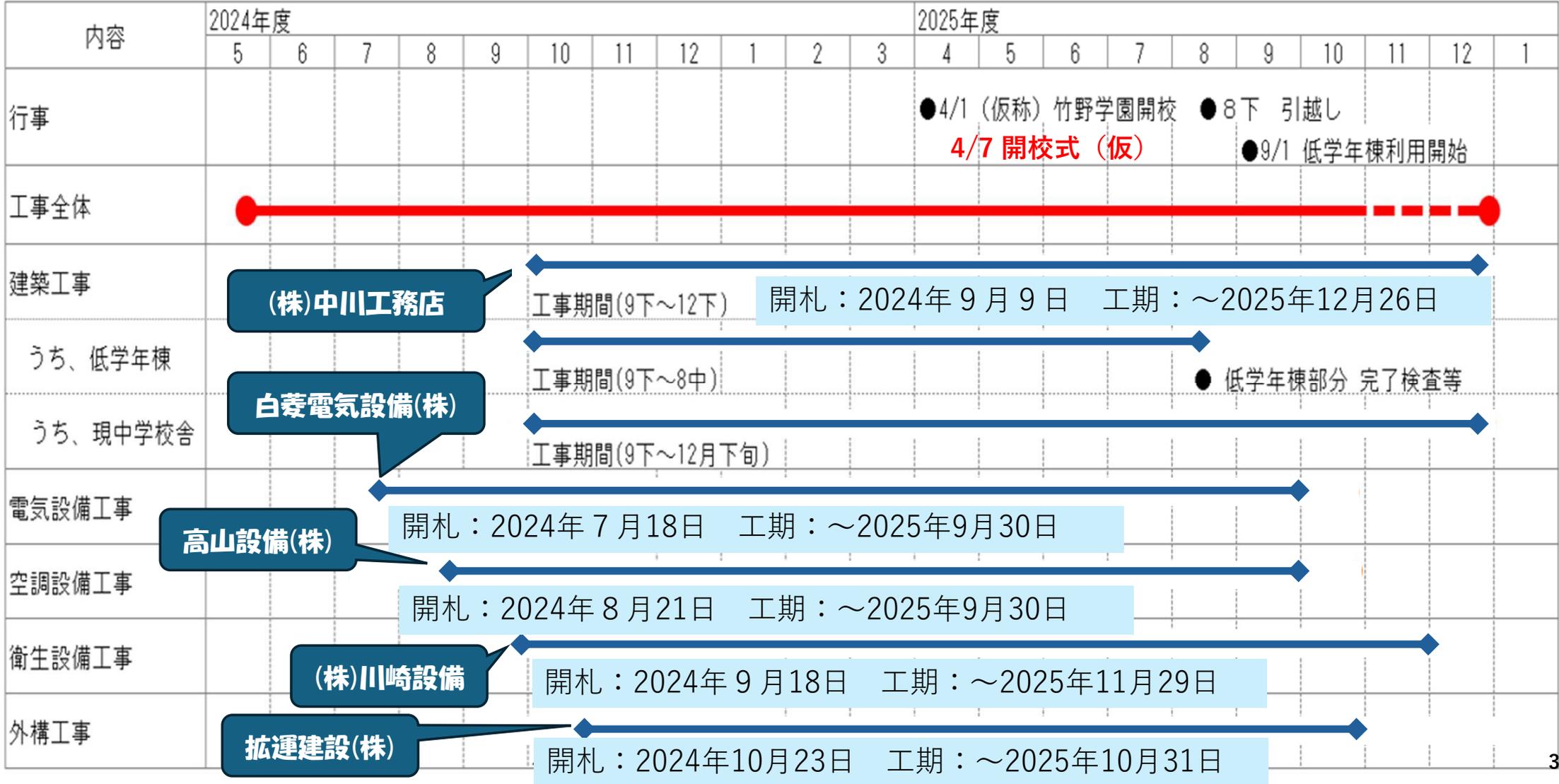
校章 6点

3 議 事

(2) 施設の整備予定について (報告)

整備工事 スケジュール(予定)

2024.10.24 時点



10月11日に 工事の安全祈願祭が執り行われました



3 議 事

- (3) 学校から
 - ア. 教育課程（案）について
 - イ. 行事予定（案）について

（仮称）竹野学園

教育課程等の検討について

竹野小学校・竹野中学校協働による 検討組織を設置し、調整を進めています

《推進組織と主な協議内容》

◎推進本部

- (1) 構成員 管理職・各WG代表
- (2) 役割
 - ① 運営管理
検討課題の確認・各WGへの指示
検討状況の把握
 - ② 全体に関わる課題に関する協議
- (3) 協議内容
 - ① 校訓・教育目標（グランドデザイン）
 - ② 教科担任制

◎ワーキンググループ

WG名	教育課程	研修	生活指導
協議内容	時間割り 学校行事	研修計画 授業力向上 授業交流の計画 特色科目カリキュラム	指導計画(生徒指導) 校則・服装規定 部活動

※上記以外に「事務職員部会」「養護教諭部会」を置き、所管業務について検討するとともに、必要に応じて管理職と協議する。

豊岡市立竹野学園 グランドデザイン

ワークショップの意見 (抜粋)

- ・時代に対応した強い心
- ・図太い心
- ・自己肯定力〔高〕
- ・疑問を持つ力
- ・ひらめく力、尽きない探求心
- ・ここから考えてより良く発展させる力
- ・主張したり相手の話を聞いて折り合いをつけたり話し合う力（コミュニケーション力）
- ・観光案内

【めざす学校像】

主体的な学びを創造し未来を切り拓く力を育む学校

【めざす子ども像】

自分ごととして考え、自分から行動する子
互いの良さを認め合い、協力して取り組む子
強くしなやかな心を持ち、ねばりづよく努力する子

【学校教育目標】

自分ごととして考え、自ら行動する児童生徒の育成
～「させられる自分」から「する自分」へ～

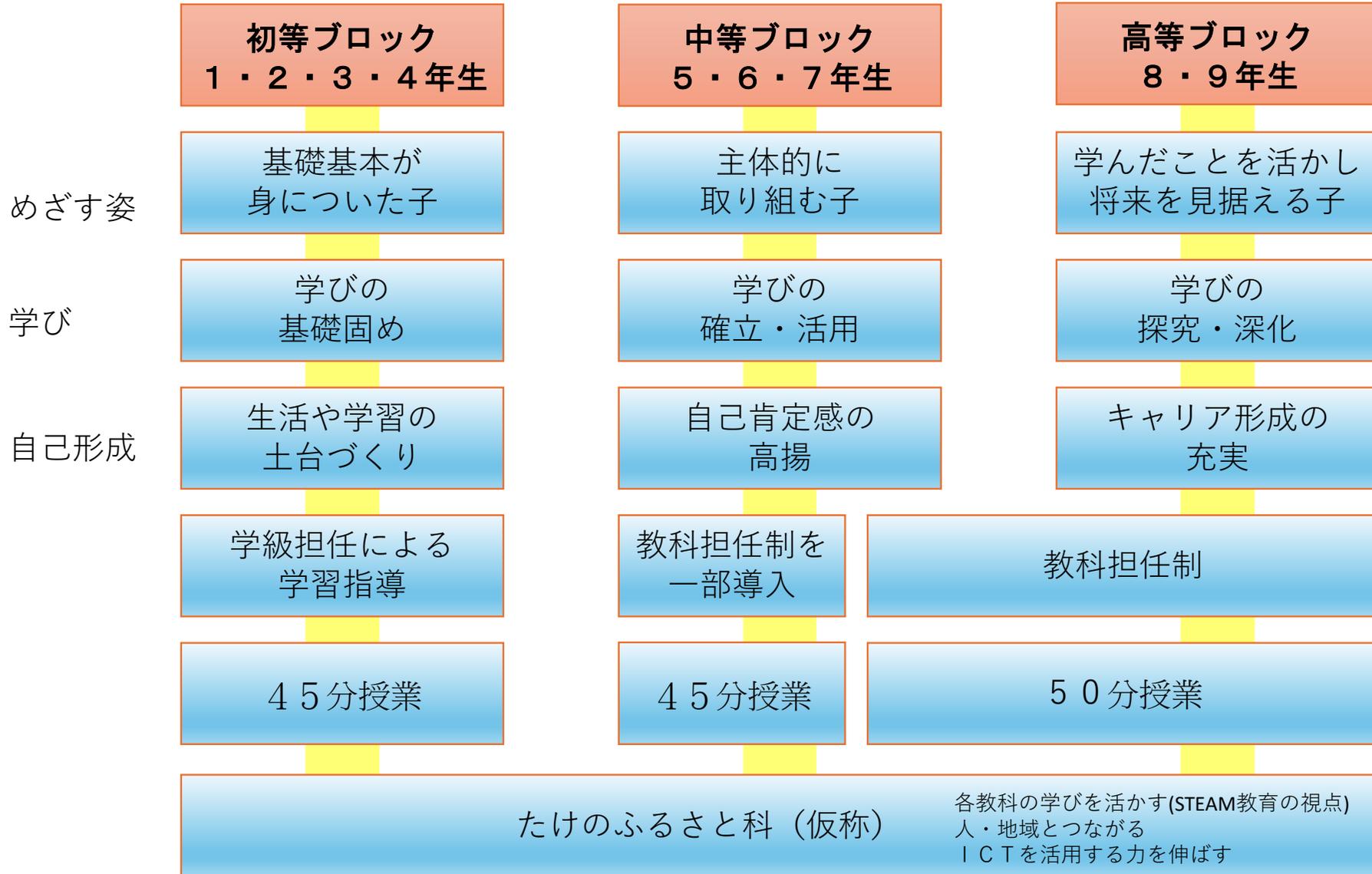
【3つの育てたい力】

- 1 自分と向き合う力
 - ・自制心
 - ・忍耐力
 - ・乗り越える力
- 2 自分を高める力
 - ・主体性
 - ・自尊感情
 - ・向上心
- 3 他者とつながる力
 - ・コミュニケーション力
 - ・共感性
 - ・協調性



参考

ブロック制



教育課程の編成

(1) 教科担任制

① 中学校の専門性を活かして

例) 小学校「英語科」(5・6年) を中学校の英語科教員が指導
中学校の音楽科教員が全学年の音楽を指導

② 配置教員の所有免許を活かして(実技教科)

○ 免許外指導の解消を図る → 学習の質的向上、教員の負担軽減

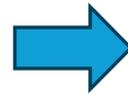
例) 小学校の教員(免許所有者) が中学校の実技教科を指導

(2) 特色あるカリキュラム「たけのふるさと科（仮称）」（内容はスライドNo. 11～を参照）

① 策定までの流れ

○ 開設準備委員会、地域住民を交えたワークショップによる意見集約

- ・何を学ばせたいか
- ・どのような力をつけたいか



開設準備委員会からの提言

- ・「ふるさと」を題材とした「探究的な学習」
- ・従来の「ふるさと教育」を充実、発展が望ましい

○ 市教委事務局、管理職の協議による方向性の決定と草案の作成

○ 各学年のカリキュラムの見直し

- ・系統性、地域とのつながりを重視する

○ 基本的な学習の流れの作成

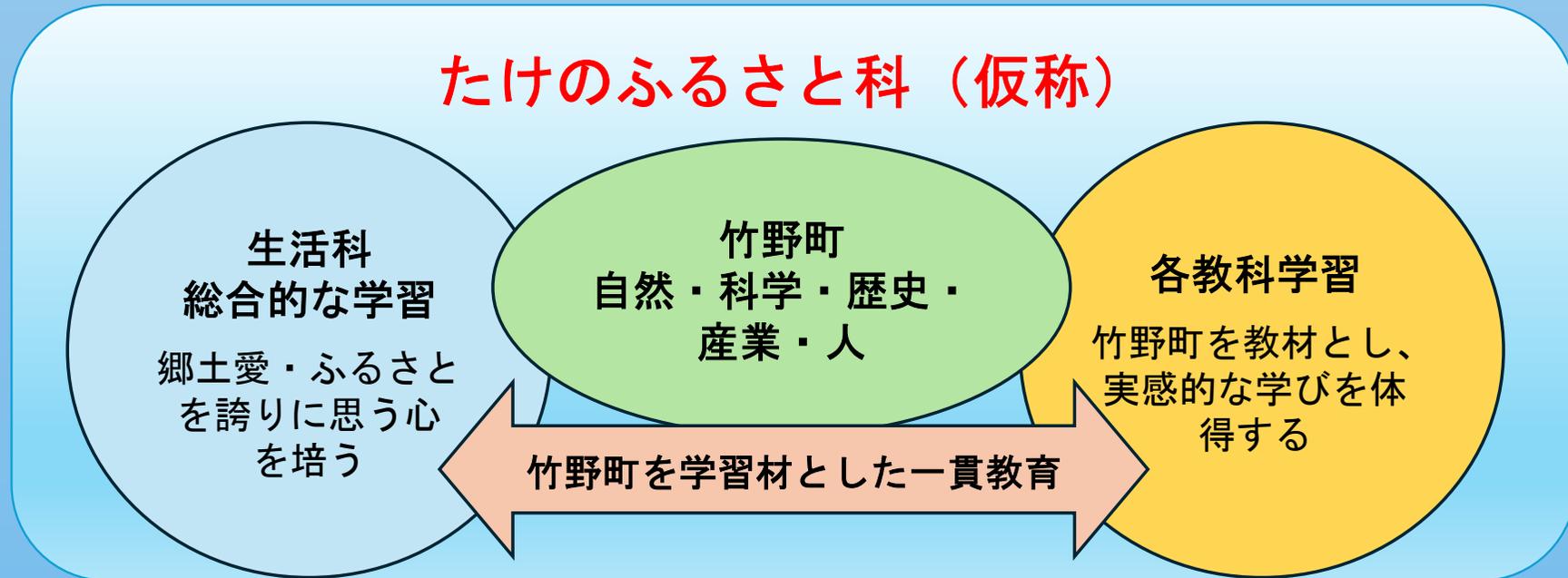
② 今後の予定

○ 実践しながら、PDCA サイクルでカリキュラムを充実させていく

○ 担当教員と保護者、地域住民等との意見交換などを通して、学習課題の充実を図る

特色あるカリキュラム「たけのふるさと科（仮称）」の取組（案）

- 1 「豊かな育ち」と「確かな学力」を保障する9年間の学び
 - (1) 学習材 「ふるさと」とつながる自然、文化、歴史、産業、人等を教材として位置付ける
 - (2) 学び方 各教科等の横断を意識し、STEAM 教育の視点を取り入れた教育実践
- 2 教育課程特例・学習区分を意識させる学校行事等 （出典：小中一貫した教育課程の編成・実施に関する手引き）
 - (1) 教育課程特例：第1学年～第9学年に「たけのふるさと科（仮称）」を設置



2 教育課程特例・学習区分を意識させる学校行事等（つづき）

(2) 学習区分

I 期（基礎期 1～4年） 地域の人と触れ合い、地域環境の魅力を学ぶ

II 期（充実期 5～7年） 背景にある歴史や自然を生かした産業等について学ぶ

III 期（発展期 8～9年） 地域の魅力や課題、めざす未来像を発信する

3 STEAM 教育の捉え方

(1) 文理融合の学び ➡ 教科等横断的な学び

各教科の学びを実社会での問題発見・解決に活かしていく

(2) 探究的な学び ➡ 目標は、積極的に社会に参画する態度

「課題設定」、「情報収集」、「整理・分析」、「まとめ・表現」のサイクルを発展的に繰り返すイメージ《総合的な学習の時間を軸に》

(3) STEM+A（教養、リベラルアーツ）…芸術の共有、表現等の工夫

「たけのふるさと科」(仮) 単元一覧表(案)

学年	学習区分	テーマ	学習内容(予定)
1年	【基礎期】 地域の人と触れ合い、地域環境の魅力を学ぶ	竹野の四季	たけのきらり! きせつとあくしゅ
2年		町探検	町のすてき 大はっ見
3年		環境	自然とともに生きよう ~竹野のひみつを再発見~
4年		産業・文化	竹野おこし協力隊 ~竹野のお宝を伝えよう~
5年	【充実期】 背景にある歴史や自然を生かした産業等について学ぶ	防災	守ろう、ふるさとのいのちとくらし
6年		観光	竹野の魅力 再発見! ~竹野のよさを発信しよう~
7年		竹野町の活性化	竹野町活性化プロジェクトⅠ —竹野の「自慢」をPRしよう—
8年			竹野町活性化プロジェクトⅡ —竹野の課題を明らかにし、課題解決に向けて提案しよう—
9年	竹野町活性化プロジェクトⅢ —竹野の「未来創造プラン」を創って提案しよう—		
	【発展期】 地域の魅力や課題、めざす未来像を発信する		

- 1～9年生まで、STEAM教育の視点を学習活動に取り入れる。
- 課題設定については、教員が主導するのではなく、子ども主導で設定する。地域の中から問題を探し、自分なりに日常生活や社会に目をむけて自ら課題を設定する。
- 地域の人材、企業、大学生等と共に学びを展開する。

- ※コミュニケーション教育…言語表現、身体表現等
- ※ICTの効果的な活用…他者参照 (ロイロノート等の活用)
課題解決や情報発信 (SNS、Youtube等の活用)
- ※英語教育…英語で学習内容を情報発信、観光客とコミュニケーション等

主な学校行事

作成途中！

	前期課程	後期課程	全校行事
4月	入学式（1年生）	後期課程進級式（7年生）	
5月	宿泊学習（6年生）	修学旅行（9年生）	リサイクル活動（PTA）
6月	自然学校（5年生）	トライやるウィーク（8年生）	オープンスクール
7月			
8月			
9月			ふるさと学習発表会（8~9年生）
10月			体育祭
11月			オープンスクール
12月			
1月			
2月			ふるさと学習発表会（1~7年生）
3月	前期課程修了式（6年生）	卒業式（9年生）	